

人生最期の過ごし方

Part 2
在宅編

参加費 無料

定員 (会場)先着200名

参加方法 事前申し込み制

裏面の申し込み用紙をご確認ください。

📺 Web配信でもご覧いただけます



人生最期を考えるシンポジウム開催!!

令和5年 **3.4** **土**

13:30開場 14:00~16:00

会場:長岡京市中央生涯学習センター(バンビオ)
3階 メインホール

主催:一般社団法人乙訓医師会(乙訓在宅医療・介護連携支援センター)

共催:向日市、長岡京市、大山崎町、乙訓保健所、向日市地域包括支援センター、長岡京市地域包括支援センター、大山崎町地域包括支援センター

後援:京都府医師会、乙訓歯科医師会、乙訓薬剤師会、乙訓地方民児協連絡協議会、向日市社会福祉協議会、長岡京市社会福祉協議会、大山崎町社会福祉協議会、京都地域包括ケア推進機構、乙訓介護支援専門員連絡会、乙訓訪問看護ステーション連絡会

事前申し込み制 | 裏面の申し込み用紙をご確認ください。

小 劇

乙訓ピンコロ劇団

主人公

吉永 さゆり子さん
88歳、ひとり暮らし



病氣；高血圧・高脂血症・糖尿病の他、今回、脳梗塞にて3週間入院中。
左半身麻痺あり、歩行もおぼつかない。
院内でも転倒事故あり。現在病院で理学療法士さんの指導のもと、懸命にリハビリ中。
認知症はほぼないが有っても日常生活には問題ない。
もともと小学校の先生で社交的な性格だが頑固なところもある。(嫁姑問題もあり)
エレベータの無い団地の3階に一人で住んでいた。
趣味は料理・カラオケ・嫁のグチ？

家族構成

夫は3年前に癌で他界、子供は3人。

長男

近くに住むが、介護にはあまり協力的ではない。嫁は姑のことが大嫌い。
月に1~2回程度なら母を近くのスーパーに連れて行っても良いと言う。

長女

隣町に在住、平日は仕事をしており、なかなか毎日手伝えないが、
母のことが大変心配と言う。

次男

東京在住、盆と正月しか帰って来ない。でも、何かときょうだいの決めたことに
口をはさむ。一人では危なっかしいから高齢者施設に入れようと言う。

本人の気持ち

住み慣れた自宅に帰りたいが、エレベータの無い団
地の3階に帰っても出かけることすら出来ないかも知
れない。自宅で倒れたらどうしよう。
リハビリも続けたいしどうしよう。
家事やお風呂も一人でできるかな・・・。
家族に迷惑はかけたくないし・・・。



さあ、主人公の吉永さゆりさんは、住み慣れた自分のお家に本当に帰れるでしょうか？

日常生活はどうしたら良いのでしょうか？どこで？誰に？相談したら良いのでしょうか？

公的支援(介護保険)も含めて、そのノウハウを医療・介護スタッフが、経験をもとに小(笑)劇も交えてお答えします。

FAX : 075-959-2172

送信先：一般社団法人乙訓医師会(乙訓在宅医療・介護連携支援センター)

※おかけ間違いにご注意ください。

本シンポジウムは入場参加またはYouTubeによるライブ配信にてご視聴いただけます。

<YouTubeでのライブ配信のお申し込み方法>

URLまたはQRコードにて事前登録(氏名、年齢、住所、電話番号、メールアドレスの記入)
事前登録していただくと登録完了メールと同時にシンポジウムライブ配信の招待メールが届きます。
当日は招待メールのURLからご視聴ください。

YouTube
ライブ
申し込みフォーム



<入場参加のお申し込み方法>

事前申し込み制となっております。当日券はございません。

お申し込みの際は、参加希望者の氏名、年齢、住所、電話番号を明記の上、FAX(上記)にてお申し込みください。

氏 名	年 齢	住 所	電 話 番 号
	歳	〒	TEL: FAX:
在宅医療・介護について、ご質問がございましたらご記入ください。 (記入欄)			

記載漏れのないようにご注意ください。記載漏れがある場合や不明瞭な場合は受付できませんのでご了承ください。

お申込み受付は**令和5年1月5日(木)～1月31日(火)**までといたします。

ご参加いただける方には、令和5年2月末頃にハガキにてお知らせいたします。

定員超過した場合、YouTubeライブで申し込みいただきましたライブ配信で視聴可能です。

お問い合わせ先

一般社団法人乙訓医師会
(乙訓在宅医療・介護連携支援センター)

TEL : 075-959-2171
平日9:00～17:00